総務消防常任委員会会議録

- 1 日 時 令和2年9月24日（木）
午後2時18分～午後3時43分
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員長 吉田 良 副委員長 熊谷克彦
委員 板橋美保 委員 齋 浩美
委員 菊地 忍 委員 丹野政喜
委員 佐藤正博
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のため な し
出席をした
者の職氏名
- 6 事務局職員 主幹兼議事調査係長 佐藤 恵子
主 事 阿部 真由
- 7 付議事件
(1) 地域コミュニティー（町内会等）の現状及び課題等について
- 8 報告事項
(1) 陳情第4号 空き家の早急な対応についての陳情

午後 2 時 1 8 分 開会

○委員長（吉田 良） 出席委員は、定足数に達しておりますので、委員会条例第 14 条の規定により委員会は成立いたしました。

ただいまから、総務消防常任委員会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付の委員会次第書のとおりであります。

この際、諸般の報告をいたします。

本日の会議に係る一切の資料を、お手元に配付しておきましたので御了承願います。

これをもって諸般の報告を終わります。

それでは、初めに付議事件（1）地域コミュニティー（町内会等）の現状及び課題等についてを議題といたします。

本日の進め方については、さきの委員会で決定しましたとおり、まず初めにインターネット等による情報収集の委員会共有として、事前に委員各位より御提出いただきました資料について御説明いただき、その後今定例会で実施してまいりました所管事務調査の調査結果について、取りまとめを行います。

それでは、まず初めにインターネット等による情報収集の委員間共有について行ってまいります。

休憩をして進めてまいります。暫時休憩いたします。

午後 2 時 1 9 分 休憩

*休憩中の要旨

- ・事前に提出した資料に基づき他市の事例や調査、研究した内容について委員一人ずつ説明した。
-

午後 3 時 4 分 再開

○委員長（吉田 良） 再開いたします。

それでは、次に今定例会で実施してまいりました所管事務調査の調査結果について取りまとめを行ってまいります。お手元に配付しております資料 2 を御覧願います。

まず初めに、所管事務調査の調査結果について、委員会調査報告書（案）を作成しておりますので、書記をして説明いたさせます。

○書記（阿部真由） [資料に基づき説明をなした]

○委員長（吉田 良） ただいま、書記より説明をいたさせましたが、委員長といたしましては本日取りまとめを行います所管事務調査の調査結果については、この委員会調査報告書をもって、議長及び本会議へ報告いたしたいと考えております。

本委員会に所属していない議員の方々と執行部に対して、今回の所管事務調査を行った結果の内容を報告できる場としては本会議をもってしかできないという制度上の縛りがあります。方法といたしましては、1つはこの場でこの報告書の共有をもって終了するという事です。2つ目は議長にのみ報告する方法です。3つ目は議長に報告し議場にて報告する方法です。いずれかの方法で報告を行います。委員長といたしましては、委員の皆さんに時間を割いていただき、労力をかけていただいて調査をしてきた結果でありますので、議場で調査報告を行うべきではないかと考えております。

このことについて、委員各位より御意見を伺いたいと思います。

休憩をして進めてまいります。暫時休憩いたします。

午後3時12分 休憩

*休憩中の要旨

まず初めに、報告する場合の方法及び報告手続の流れ等について書記より説明をした。これまで同様の先例はないが、想定できる報告方法については以下の3点のとおり。

- 1 委員会内で調査報告書を共有する
- 2 議長に調査報告書を提出する
- 3 本会議において委員長より調査報告を行う（委員長案）

→議長に調査報告書を提出し、本会議で報告したい旨を申し出し、議会運営委員会が招集され日程や報告の方法等について協議をする。本会議で委員長から報告を行い、質疑を受ける。

以上3点の中から、どの方法で報告を行うかについて、委員各位より意見を聴取した。その後、調査報告書案の内容について協議を行った。委員各位より出された意見等は次のとおり。

（質）3の方法を採った場合、議会運営委員会で報告の賛否について採決するのか。

(答) 議会運営委員会では、本会議での報告自体の賛否についてというより、報告の方法等について協議をすることとなる。

(質) 3の議会運営委員会が開催された場合は、総務消防常任委員会委員長が出席し、経緯の説明等を行うことになるのか。

(答) 過去に、名取市議会会議規則第100条に基づく委員会調査報告を本会議で行った際は、特に出席などはしていないが、今回の所管事務調査の委員会調査報告は100条の規定には当たらないと解され、その場合の本会議における委員会報告は事例がない。

(質) 3の方法で本会議において質疑があった場合はそれを受けなければならないのか。

(答) 質疑の有無にかかわらず、その機会は設けることになるかと思われる。

(意見) 今回の所管事務調査については、議会から付託などを受けた調査ではなく委員会で自ら決定し行ってきた新しい取組であり、大きな成果があったと捉えている。今後どうしていくのかということはそれぞれが考えていくべきものであるため、委員会の中で共有しこの報告書をもって調査を終了するのが望ましい。

(質) 本会議で報告をしなければ、執行部へこの調査結果報告書が届かないということか。

(答) 仮に本会議で報告をした場合でも、あくまで口頭報告を行うのみで、その報告書を委員長名や議長名で執行部へ通知するものではない。

(質) 調査結果報告書に基づいて執行部へ何か求めることはできないということか。

(答) 仮に決議や意見書の提出ということになれば、そういった可能性もある。また、本会議で報告するとなった場合は、執行部も出席しているため事実上聞いていることにはなるが、法的拘束力はない。

(意見) まだ調査が十分ではない部分があると思うが、これまで委員会で調査・研究してきた内容について周知する意味も含めて本会議で報告したほうがよい。

(意見) 本会議で報告まではしなくとも、あくまで常任委員会なので、委員会で調査した内容については議長へ報告すべき。

(意見) 今回は自分たちで学ぶための勉強を主に行ってきた。本会議で報告するのであれば、もう少し議論を深めて政策提言までできるような段階ですべき

ではないか。

(意見) 今回は議長までの報告でよい。執行部への提言等の方法については、現段階で議会として何もルールが定まっていないので、そこに関しては議会運営委員会などで協議していただくことにすればよいのではないか。

(質) 議長に調査報告書をもって報告し、その写しを各議員へ配付することはできるのか。

(答) 議長の判断となる。

(まとめ)

- ・以上の協議を踏まえ、調査結果報告については、2の議長に調査報告書を提出する方法を採ることとし、委員長から議長へ報告する際に各議員へ写しを配付することについてお取り計らいをお願いすることとした。
- ・委員会調査報告書案については、「3調査経過の概要」中、「自治会」を「町内会」へ、「組織率」を「加入率」へ修正することとした。
- ・その他の内容については原案のとおりとすることを確認した。

午後3時42分 再開

○委員長(吉田 良) 再開いたします。

お諮りいたします。所管事務調査、地域コミュニティー(町内会等)の現状及び課題等についてに関する委員会調査結果につきましては、休憩中の協議のとおりといたします。なお、委員会調査報告書につきましては、簡易な語句、数字、その他整理を要する事項については、委員長に御一任願いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(吉田 良) 御異議なしと認めます。よって、そのようにそのように決定いたしました。

それでは次に、報告事項(4)陳情第4号 空き家の早急な対応についての陳情について、報告をいたします。

お手元に配付しております資料3を御覧願います。

陳情第4号については、さきの委員会において委員会調査報告の取りまとめを行い、調査報告書の整理については委員長一任となっております。

空き家対策に関する計画策定の時期について「令和3年度中」という文言を追加することとしておりましたが、確認の上「令和3年度以降」と追加及び整

理いたしましたので、報告いたします。

以上で、本日の付議事件は全て終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。

大変御苦労さまでした。

午後 3 時 4 3 分 散会

令和 2 年 9 月 2 4 日

総務消防常任委員会

委員長 吉 田 良